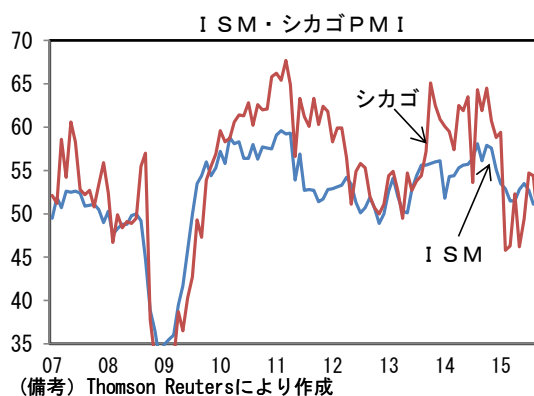
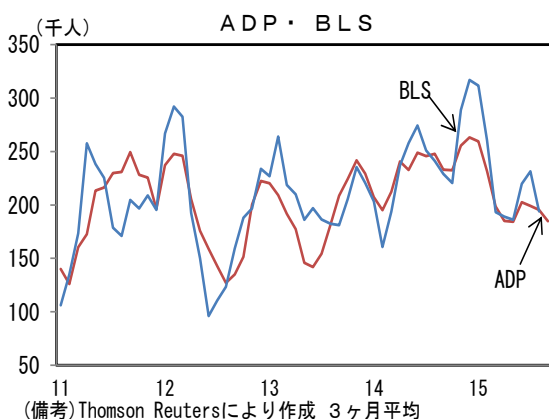


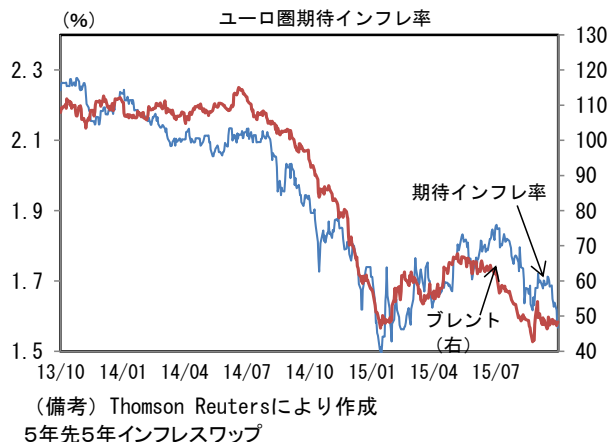
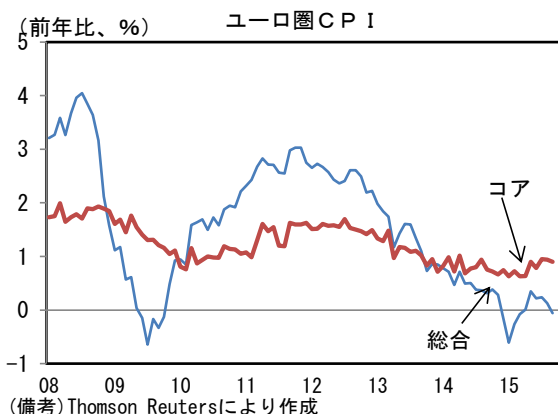


【海外経済指標他】～消費者信頼感：ポジティブサプライズ～

- ・ 9月ADP雇用統計は+20.0万人と概ね市場予想(+19.0万人)に一致。BLS雇用統計の市場予想(非農業部門全体+20.0万人、民間部門+19.8万人)のリスクは上下に均衡している。
- ・ 9月シカゴPMIは48.7と市場予想(53.0)を下回った。



- ・ 9月ユーロ圏CPIは前年比▲0.1%と6ヶ月ぶりにマイナス転化。エネルギー価格(▲7.2%→▲8.9%)の下落幅拡大が食料品(+1.3%→+1.4%)の加速を打ち消した。他方、コア物価は前年比+0.9%と堅調。サービス物価(+1.2%→+1.3%)が加速した一方、コア財(+0.4%→+0.3%)は僅かに減速したが、その一部は資源価格下落の影響を間接的に受けたものだろう。サービス物価、コア財の底堅さはユーロ圏経済がデフレと距離を保っていることを象徴する。しかしながら、市場ベースの期待インフレ率(5年先5年フォワードインフレスワップ)が急低下しているほか、ユーロ圏経済・物価を支援してきたEUR安が一服するなど、ECBを動かす材料が多いのも事実。ECBが年内にQEプログラムの延長(現行は2016年9月まで)を決定する可能性が高まっている。

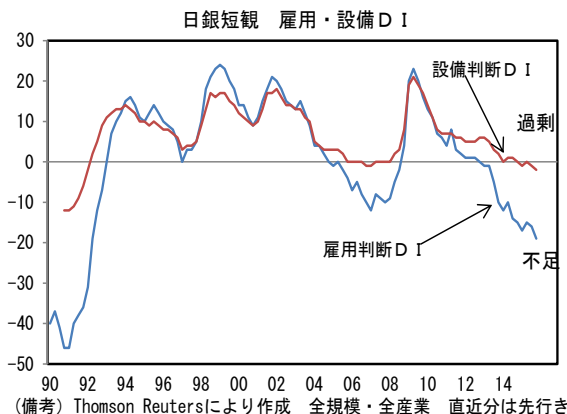
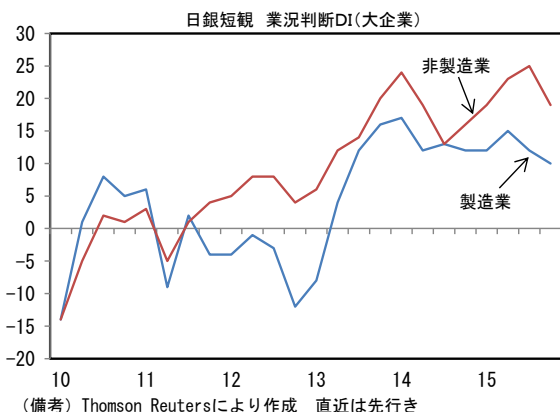


【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- ・前日の米国株は大幅続伸。アジア株ラリーに追随したほか、バイオ関連株の反発が好感された。
- ・前日のG10通貨はEURが最弱となった一方、資源国通貨（NZD、CAD、AUD）が強く、JPY、USDの強さは中位程度。投資家センチメントが安定するなか、資金調達通貨が弱くEUR/USDは1.12半ばから1.11後半まで水準を切り下げた。USD/JPYは一時120を回復するも、米2年金利が低下するなか一進一退の動きとなった。
- ・前日の米10年金利は2.037%（▲1.4bp）で引け。市場はリスク選好に傾斜したものの、2.1%を回復するとラリー開始。欧州債市場は総じて小動き。独10年金利は0.587%（+0.4bp）で引け、イタリア（1.725%、+1.1bp）、スペイン債（1.892%、+0.1bp）もほぼ変わらず。

【国内株式市場・経済指標他、注目点】

- ・日本株は欧米株高に追随して続伸スタート。日銀短観は概ね予想どおりでインパクトなし。
- ・日銀短観（9月調査）によると業況判断DIはヘッドラインである大企業製造業が+12と市場予想（+13）に概ね一致。自動車を除く加工業種が全般的に弱かった。先行き判断DIは現況対比2pt悪化の+10。予想に一致した。他方、大企業非製造業は+25と予想外に改善。消費関連が苦戦を強いられているかと思いきや小売、対個人サービスが改善するなど意外な結果となった。先行きは+19と現況対比6ptの悪化が見込まれているものの、水準そのものは好調だ。
- ・需給ギャップを測るうえで注目される雇用人員判断DIは▲16、先行きは▲19とマイナス幅拡大（人手不足感が強まる）。最近の求人関連指標の著しい改善と整合的。生産・営業用設備判断DIも▲1、先行きが▲2とマイナス幅が拡大（設備不足感が強まる）。これらのデータは需給ギャップとコアコア物価の関係（フィリップスカーブ）を重視する日銀にとって朗報だろう。8月のコアコアCPIは前年比+0.8%、季節調整値の3ヶ月前比年率が+2.0%に達するなど堅調。“物価の基調は上向いている”と日銀が主張するデータが既にあるなかで、物価に先行性を持つ需給ギャップが解消しているならば、先行きの物価上昇シナリオもサポートされる。日銀が「現状維持」を貫くことの正当性を担保している。
- ・とはいえ、追加緩和の可能性は排除できない。8月コアコアCPIが日銀をサポートした一方で、その後発表された8月鉱工業生産がネガティブサプライズとなり、日銀短観の業況判断DIも（予想通りとはいえ）悪化するなど、日銀の強気シナリオは依然として疑問が投げかけられたままだ。そしてより重要なことに株式市場の混乱が続いており、これが日銀の背中を押す可能性があるだろう。黒田総裁の性格を踏まえると、ある程度予想されている10月30日の会合よりは10月7日会合に注意を払いたい。サプライズを演出することによって緩和効果が高まると日銀（黒田総裁）が判断する可能性があるからだ。



<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	17580.79	192.64
N Y ダウ	16,284.70	235.57
D A X (独)	9,660.44	210.04
FTSE100 (英)	6,061.61	152.37
CAC40(仏)	4,455.29	111.56

<外国為替>※

USD/JPY	120.07	0.19
EUR/USD	1.1165	-0.00

<長期金利>※

日本	0.344 %	-0.012 %
米国	2.037 %	-0.014 %
英国	1.762 %	0.006 %
ドイツ	0.587 %	0.004 %
フランス	0.985 %	-0.006 %
イタリア	1.725 %	0.011 %
スペイン	1.892 %	0.001 %

<商品>

N Y 原油	45.09 ^{ドル}	-0.14 ^{ドル}
N Y 金	1115.50 ^{ドル}	-11.60 ^{ドル}

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg

